平成経済を映す本

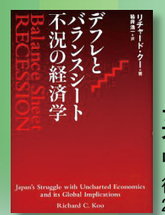
バブル崩壊、デフレ論議、格差問題、そしてリーマン・ショック……。その時々のベストセラーや話題書から平成を振り返る。

デフレ論議

昭和恐慌の研究
岩田規久男編著
東洋経済新報社
2004年4月

金融緩和でデフレ脱却を図るリフレ派の原点

100年デフレ
水野和夫著
日本経済新聞社
2003年2月



デフレとバランスシート不況の経済学
リチャード・クー著
徳間書店
2003年10月

リーマン・ショックの後、グローバル資本主義への懐疑が広がった

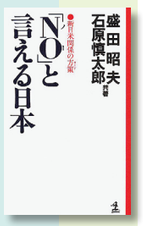
資本主義はなぜ自壊したのか
中谷巌著
集英社インターナショナル
2008年12月

格差問題

マネー敗戦
吉川元忠著
文春新書
1998年10月

米国による基軸通貨ドルの切り下げが日本の富を失わせたとし、円建て投資を提起

日はまた沈む
ビル・エモット著
草思社
1990年3月



「NO」と言える日本
盛田昭夫・石原慎太郎著
光文社
1989年1月

中央銀行
白川方明著
東洋経済新報社
2018年10月

日銀前総裁が振り返る39年間の歩みは平成に重なる

未来の年表
河合雅司著
講談社現代新書
2017年6月

リフレが日本経済を復活させる
岩田規久男・浜田宏一・原田泰編著
中央経済社
2013年3月

リフレ政策を掲げた安倍晋三政権の誕生後、異次元金融緩和が始まる直前に刊行

21世紀の資本
トマ・ピケティ著
みすず書房
2014年12月

下流社会
三浦展著
光文社新書
2005年9月

日本の不平等
大竹文雄著
日本経済新聞社
2005年5月

日本の経済格差
橘木俊詔著
岩波新書
1998年11月

バブル崩壊後、不良債権問題が実体経済に悪影響を及ぼすと論じた

複合不況
宮崎義一著
中公新書
1992年6月

竹中氏は2001年以降、小泉純一郎政権で経済財政政策担当大臣などを歴任

2019 | 2015 | 2010 | 2005 | 2000 | 1995 | 1990 | 1989

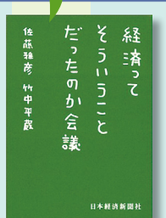
平成30年 | 平成25年 | 平成20年 | 平成15年 | 平成10年 | 平成5年 | 平成元年

人口と日本経済
吉川洋著
中公新書
2016年8月

もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら
岩崎夏海著
ダイヤモンド社
2009年12月

稼ぐが勝ち
堀江貴文著
光文社
2004年8月

経済ってそういうことだったのか会議
佐藤雅彦・竹中平蔵著
日本経済新聞社
2000年4月



カリスマ
佐野眞一著
日経BP社
1998年7月

ダイエーを築き上げた中内功の栄枯盛衰を描く

日本改造計画
小沢一郎著
講談社
1993年5月

政治主導と規制緩和、自由貿易を唱えた

（出所）『出版年鑑』（出版ニュース社）、トーハン「年間ベストセラー」、経済関係の受賞作一覧、各種ランキングなどを基に編集部作成